

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	青少年を取り巻く有害環境対策の推進			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	平成16年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課		男女共同参画共生社会学習・安全課長 安里 賀奈子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律(平成20年法律第79号) 第四条(国及び地方公共団体の責務) 第十三条(インターネットの適切な利用に関する教育の推進等) 第十四条(家庭における青少年有害情報フィルタリングソフトウェアの利用の普及) 第十五条(インターネットの適切な利用に関する広報啓発)			関係する 計画、通知等	第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定) 自殺総合対策大綱(令和4年10月14日閣議決定) 子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月6日子ども・若者育成支援推進本部決定) 青少年インターネット環境整備基本計画(第5次)(令和3年6月7日子ども・若者育成支援推進本部決定)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-6.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	インターネット上の違法・有害サイトを通じた犯罪やいじめ等に青少年が巻き込まれるとともに、「ネット依存」による生活習慣の乱れなどが課題となっていることから、青少年の健全育成を図るため、関係府省庁と連携し、インターネット等の適切な使用やネット依存を含む各種依存症予防について、保護者と青少年に直接働きかける啓発と教育活動を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	青少年インターネット環境整備基本計画(第5次)(令和3年6月7日子ども・若者育成支援推進本部決定)において、「法改正を踏まえたフィルタリングによる更なる利用促進」と「子供の低年齢期からの保護者・家族への支援」等が掲げられており、インターネット利用やスマホの占有がますます低年齢化する昨今、関係省庁・団体等の更なる連携をはかり、青少年やその保護者、地域等へ一層の普及啓発を行う必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	(1) ネット安全安心全国推進フォーラム、ネットモラルキャラバン隊の実施、青少年安全ネット・ワークショップ、ネット対策地域支援により、有害環境から子供を守るための推進体制の構築を図る。 (2) ネット依存傾向の青少年を対象とし、青少年教育施設を活用した自然体験や宿泊体験プログラム等を普及することにより、ネット依存対策を推進する。 (3) 依存症予防教育を推進するため、シンポジウム等の開催や、社会教育施設を活用した児童生徒、地域住民向けの「依存症予防教室」の開催等の取組について支援を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	38	25	24	24	24
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	38	25	24	24	24	
	執行額(G)		21	17	15		
	執行率(%) =(G)/(F)		55%	69%	62%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		55%	69%	62%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	教育政策推進費			-		
	(目)	教育政策推進事業委託費	20.4	20.4			
	(目)	委員等旅費	1.3	1.3			
	(目)	庁費	1.1	1.1			
	(目)	諸謝金	0.9	0.9			
	(目)	職員旅費	0.5	0.5			
		その他					
	計(A)		24	24			

活動内容① (アクティビティ)		都道府県PTAと連携し、保護者を対象に全国各地で情報モラルやネットとの関わり方、フィルタリングの推進、家庭でのルール作り等を啓発するシンポジウムを開催する。また、全国フォーラムを開催し、有識者によるトークセッションやパネルディスカッションを実施することにより各地域における成果を全国に発信する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ネットの安心安全全国推進フォーラムの参加者に対するアンケートにおける評価の割合で「役に立つ」と回答した割合を90%以上にする。	ネットの安心安全全国推進フォーラムの参加者による評価(「役に立つ」と回答した割合)	活動実績	%	97	94	98	－	－
				当初見込み	%	90	90	90	90	90
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	アクティビティ実施の評価をする初期段階として、まずは実施したフォーラム参加者が「役に立つ」「使える」「使ってみたい」と考えることが重要であると考えアウトプット設定。 こうした啓発活動をきっかけとして、直接的ではないにしても、青少年全体として、インターネットに関する啓発や学習の経験を増やすことが重要であり、その観点から中期アウトカムを設定。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		インターネットに関する啓発や学習の経験のある青少年の割合を90%以上にする。	インターネットに関する啓発や学習の経験のある青少年の割合	成果実績	%	87	88	86	－	
				目標値	%	90	90	90	90	
				達成度	%	9611%	9767%	9567%	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		青少年のインターネット利用環境実態調査(令和5年3月)								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	インターネットに関する啓発や学習の経験のある青少年の割合が高まり、そうした中で、インターネットを使っている青少年について、家庭でその使い方についてルールを定めている割合が高まることが期待されるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		インターネットを使っている青少年について、家庭でその使い方についてルールを定めている割合を増加させる。	インターネットを使っている青少年について、家庭でその使い方についてルールを定めている割合	成果実績	%	65	63	67	－	
				目標値	%	70	70	70	70	
				達成度	%	9257%	9057%	9629%	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		青少年のインターネット利用環境実態調査(令和5年3月)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		青少年教育施設を活用し、ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムの実施を通じたネット依存対策を推進する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムを実施する。	ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムの実施箇所数	活動実績	箇所	4	3	2	-	-
				当初見込み	箇所	8	3	2	3	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国において、ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験や宿泊体験プログラムを必要な数実施し、その成果を展開することが必要であることから、アウトプットを設定。 そうした取組や事例の横展開が、インターネットにのめりこんで勉強に集中できない状態や睡眠不足になる青少年がそのような状況から脱却するための機会やヒントとなると考えられるため、アウトカムとして設定。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		インターネットにのめりこんで勉強に集中できない状態や睡眠不足になる割合を減少させる。	インターネットにのめりこんで勉強に集中できない状態や睡眠不足になる割合	成果実績	%	19	18	20	-	
				目標値	%	14	19	18	15	
				達成度	%	13429%	9521%	11341%	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		青少年のインターネット利用環境実態調査(令和5年3月)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		インターネットにのめりこんで勉強に集中できない状態や睡眠不足になる割合を減少させることが、最終目的と直接結びつくため。								

活動内容③ (アクティビティ)		各地域においてネット依存やその他の依存症予防に関する啓発講座である「依存症予防教室」を実施するとともに、全国的な啓発として「依存症に対する理解を深めるための普及啓発シンポジウム」を開催する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		全国で依存症予防教室を実施する。	依存症予防教室の実施箇所数	活動実績	箇所	4	3	2	－	－
				当初見込み	箇所	8	3	2	2	－
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	国において、依存症予防教室を必要な数実施し、その成果を展開することが必要であることから、アウトプットを設定。 また、依存症予防教室で有意義な学びを得た参加者らがそれを横展開すること等が依存症予防の啓発に繋がることからアウトカムを設定。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		依存症予防教育推進事業のシンポジウム参加者に対するアンケートにおいて「大変参考になった」と回答した割合を90%以上にする。	依存症予防教育推進事業のシンポジウム参加者に対するアンケートにおいて「大変参考になった」と回答した割合	成果実績	%	98	98	93	－	
				目標値	%	90	90	90	90	
				達成度	%	10889%	10889%	10311%	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		依存症予防教育推進事業のシンポジウム参加者に対するアンケート結果								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	依存症予防教育推進事業のシンポジウムへの参加者が各種依存症等へ理解を深め、そこでの学びをあらゆるフィールドで横展開することで、国民の各種依存症等に対する理解の向上及びその予防に繋がると考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		国民の各種依存症等に対する理解の向上及びその予防	－	成果実績	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・各種依存症等に対する国民の理解の度合いの向上 ・各種依存症等に悩む国民の減少								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		いわゆる依存症については、医学的な定義が必ずしも確立されていない部分もあり、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								
		－								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－								
	URL	－								
	該当箇所	－								

[illegible]

文部科学省
【15百万円】

学識経験者などで構成される技術審査
委員会を設置し、委託事業の採択をはじ

※本省執行分
諸謝金 0.6百万円
職員旅費 0.2百万円
委員等旅費 0.001百万円
庁費 1百万円

A.有害環境から子供を守る
ための推進体制の構築
【5.6百万円】
(4機関)

関係府省庁やPTA等と連携しつつ、保護
者及び青少年に直接働きかける「ネット
モラルキャラバン隊」による学習・参加型
のシンポジウムを開催するほか、ワーク
ショップ等を実施する。
また、急速に拡大していくネット環境に対
応するため、地域における先進的な有害
環境対策を推進する。

B.青少年教育施設を利用した
ネット依存対策推進事業
【5.6百万円】
(2機関)

青少年教育施設を活用し、ネット依存傾
向の青少年を対象とした自然体験や宿
泊体験プログラムを実施を通じたネット
依存対策を図る。

C.依存症予防教育推進事業
【2.2百万円】
(2機関)

地方公共団体、学校、民間事業者、家庭
等と連携し、依存症予防教育のための
方策等の検討を実施、普及啓発活動を
行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師等謝金	1	諸謝金	講師等謝金	1
旅費	キャラバン開催地までの旅費	0	借損料	施設の借料	1
人件費	従事者賃金	1	その他	旅費、消耗品費等	1
その他	印刷製本、会議、雑役務	2			
計		4	計		3
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師等謝金	1			
旅費	講師等旅費	1			
その他	消耗品費、印刷製本費等	1			
計		2	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社メディア開発綜研	7011101030093	ネットモラルキャラバン隊の実 施等	4	随意契約(企画 競争)	4	100	－
2	京都府	2000020260002	青少年いいねット京(みやこ) フォーラムの実施等	1	随意契約(企画 競争)	4	100	－
3	小松市教育委員会	3000020172031	小松市小中学生サミットの実 施等	1	随意契約(企画 競争)	4	100	－
4	大阪府	4000020270008	子どもを守るネット対策事業 の実施等	1	随意契約(企画 競争)	4	100	－

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人兵庫県青少年本部	2140005004971	人とつながるオフラインキャンプ2022の実施等	3	随意契約(企画競争)	6	33	-
2	独立行政法人国立青少年教育振興機構	8011005001124	セルフディスカバリーキャンプの実施等	3	随意契約(企画競争)	6	33	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人全国薬 物依存症者家族会連合会	2060005005367	依存症予防教室の実施等	2	随意契約(企画 競争)	2	100	-
2	群馬県	7000020100005	インターネット依存予防教室 の実施等	0	随意契約(企画 競争)	2	100	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	